

ご存じですか！文化財

62

「香取神社絵馬」

市指定有形文化財 昭和61年12月8日指定



問合せ
生涯学習課
(☎0480・62・1223)



所在地 北大桑808

香取神社絵馬は、延享3(1746)年6月、羽川珍重によつて描かれ、願主北大桑村中より香取神社に奉納されたものです。

かつて香取神社の境内では、天下泰平・五穀豊穰を願った祈禱舞とともに獅子舞や余興の演目が行われていて、この絵馬では祈禱舞と、それを見守る人々の様子がユーモラスに描かれています。

この神楽については、高瀬家(阿佐間)の嘉永6(1853)年の書付に「年々二月十九日、境内において泰平安全の

ため祈念欠かさず候。加えて氏子平養のため神楽を奉しきたり候ところ、年来神の邪気を蒙ることこれあらず」という記録が残されています。

絵師の羽川珍重は、延宝8(1860)年、川口村(加須市)の生まれで、幼少のころ江戸に出て、鳥居清信に学びました。浮世絵師として正徳・享保期に活躍し、「吉原丸鑑」、「役者芸品定」の挿絵を描いたことで有名です。

この絵馬は羽川珍重の晩年の作品で、往時の風俗を知る貴重な資料となっています。



紹介者 小沼 良市さん(旗井)